

スポーツタービンキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別スポーツタービンキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド	11004-AN005
製品説明書品番	E04211-N48078-00 Ver.3-3.09
整備要領書品番	A006020、A006021、A260W02 A006026、A006027 A006030
メーカー車種	ニッサン スカイラインGT-R BNR32 BCNR33 BNR34
エンジン型式	RB26DETT
年 式	1989年08月～1994年12月 1995年01月～1998年12月 1999年01月～2002年08月
備 考	【注意事項】 ・本製品取付後は、出力が上がりますのでF-CON等の燃料調整装置を使用しセッティングを取り直してください。 ・必要により燃料ポンプ、インジェクタの大容量化、メタルタイプ、ヘッドガスケットへの交換を行なってください。 ・必ず、エンジンプラグの焼け具合を確認し、必要であればプラグの交換を行なってください。

改訂の記録

改訂	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2003/03	初版
3-3.02	2003/04	パーツリスト記載変更
3-3.03	2003/10	パーツリスト変更、記載事項変更
3-3.04	2004/06	パーツリスト変更、記載事項変更
3-3.05	2004/09	パーツリスト変更、記載事項変更
3-3.06	2004/11	パーツリスト変更、記載事項変更
3-3.07	2006/08	パーツリスト変更
3-3.08	2007/06	パーツリスト変更
3-3.09	2008/06	パーツリスト変更

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
1	G17200-N48032-00	ターボチャージャAssy	2		
2	17173-061259	ガスケット エキゾースト	2		
3	G65455-K00270-00	ガスケット フロントパイプ 65	2		
4	G65455-K00280-00	ガスケット 汎用マフラー 75	1		
5	17348-004100	ガスケット チャンバパイプ	3		
6	17337-002100	ガスケット サクションパイプ	2		
7	14009-AK001	ガスケット オイルアウト	2		
8	14999-AK019	ゴムキャップ 6	1		
9	14008-AK002	銅ワッシャ オイルライン	8		外径 17.4-内径 12.2 厚さ1.0
1 0	94601-004100	銅ワッシャ ウォータライン(大)	2		外径 24.0-内径 18.0 厚さ1.0
1 1	15463-012133	銅ワッシャ ウォータライン(小)	1 0		14
1 2	92112-013100	スタッドボルトM8-1.25	1 8		7-10-14
1 3	1499-RA020	セルフロックナット M8-1.25	8		
1 4	91116-08301325	六角穴付きボルト M8 L=30	4		L=30
1 5	G15450-N48022-00	オイルアウトレットパイプ フロント	1		
1 6	G15450-N48031-00	オイルアウトレットパイプ リヤ	1		
1 7	1408-RA020	オリフィス入りバンジョウボルト	2		
1 8	18006-AK003	スリーウェイ	1		6- 6- 6 樹脂
1 9		タイラップ (小)	4		(黒)
2 0	1801-SA016	耐油ホース 6	1		L=500
2 1	93050-002100TP	取扱説明書	1		
2 2	E04211-N48078-00	取付説明書	1		

パーツリスト内の部品を別途購入する際は、補修パーツとして設定してある為、受注センターにお問い合わせください。

受注センター

TEL : 0544 - 29 - 1234
FAX : 0544 - 29 - 1151

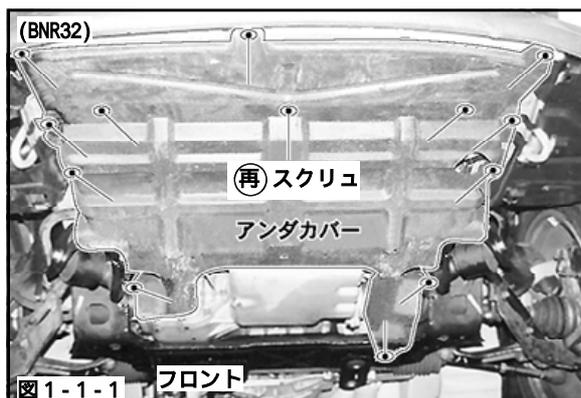
1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

1-1. アンダカバーの取外し

1-1-1. アンダカバーの取外し(BNR32)

(1) ⑩スクリュ(13本)を外し、アンダカバーを取外してください。(図1-1-1)



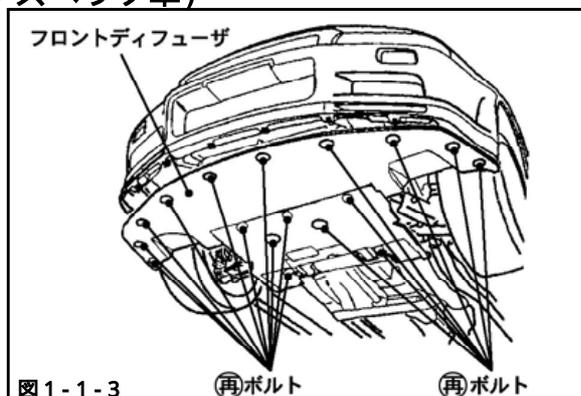
1-1-2. アンダカバーの取外し(BCNR33, BNR34標準車)

(1) ⑩スクリュ(10本)を外し、アンダカバーを取外してください。(図1-1-2)



1-1-3. フロントディフューザの取外し(BNR34 V仕様車)

(1) ⑩ボルト(17本)を外し、フロントディフューザを取外してください。(図1-1-3)



1-2. 冷却水及びエンジンオイルの抜取り

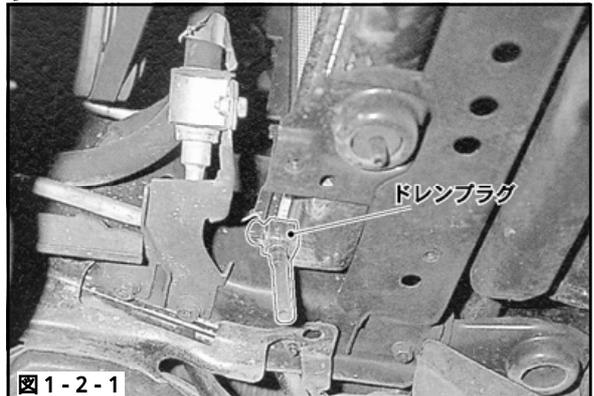
- (1) ラジエータの下側にあるドレンプラグをゆるめ、冷却水を抜取ってください。(図1-2-1)



注意

エンジン停止直後の作業は、行なわないでください。火傷をする恐れがあります。

- (2) エンジンオイルを抜取ってください。



1-3. フロントパイプの取外し

- (1) ボルト(4本)を外し、触媒カバーを取外してください。(図1-3-1)

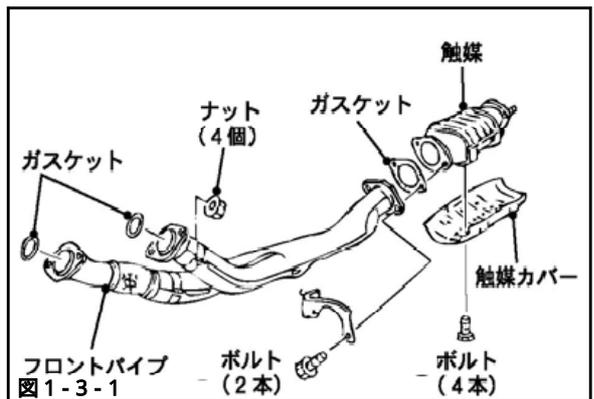
アドバイス

- ・ボルト(4本)は再使用します。

- (2) ターボチャージャAssy側のナット(4個), 触媒側のボルト(2本)を外し、フロントパイプを取外してください。(図1-3-1)

アドバイス

- ・ターボチャージャAssy側のナット(4個), 触媒側のボルト(2本)は再使用します。

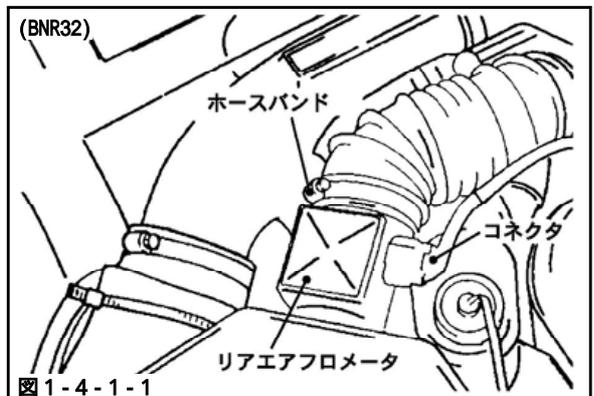


1-4. エアクリーナの取外し

1-4-1. エアクリーナの取外し(BNR32)

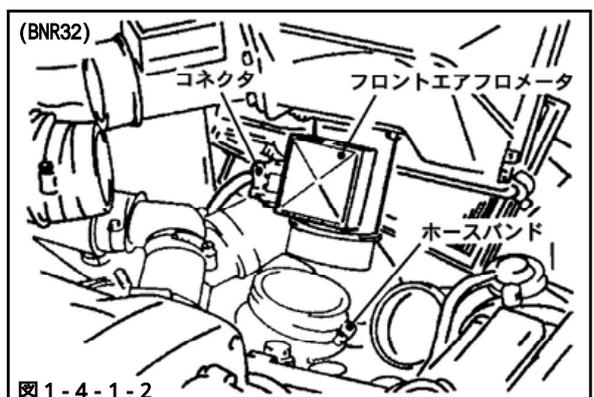
- (1) リアエアフロメータから、コネクタを取外してください。(図1-4-1-1)

- (2) ホースバンドをゆるめてください。(図1-4-1-1)



- (3) フロントエアフロメータから、コネクタを取外してください。(図1-4-1-2)

- (4) ホースバンドをゆるめてください。(図1-4-1-2)



(5) クリップ(4個)を外し、エアクリーナカバーを取外してください。(図1-4-1-3)

(6) エアクリーナを取外してください。(図1-4-1-3)

(7) ボルト(ケース内側2本, 外側2本)を取外し、エアクリーナケースを取外してください。(図1-4-1-3)

アドバイス

・ボルト(ケース内側2本, 外側2本)は再使用します。

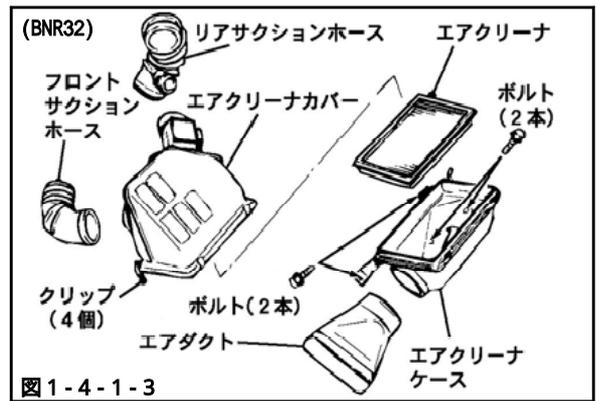


図1-4-1-3

1-4-2. エアクリーナの取外し(BCNR33, BNR34)

(1) クリップ(2個)を外し、エアダクト(外気導入側)を取外してください。(図1-4-2-1)

(2) エアクリーナケースを取出しやすくするため、エアダクト(左フェンダー内)を図1-4-2-1の矢印の方向に押してください。(図1-4-2-1)

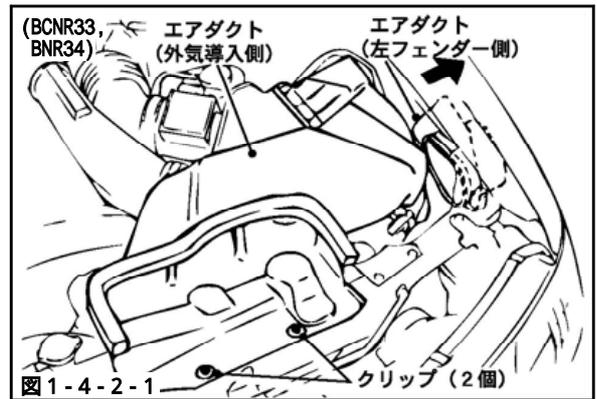


図1-4-2-1

(3) ボルト(2本)を取外してください。(図1-4-2-2)

アドバイス

・ボルト(2本)は再使用します。

(4) クリップ(4個)を外し、エアクリーナカバーを取外してください。(図1-4-2-2)

(5) エアクリーナを取外してください。(図1-4-2-2)

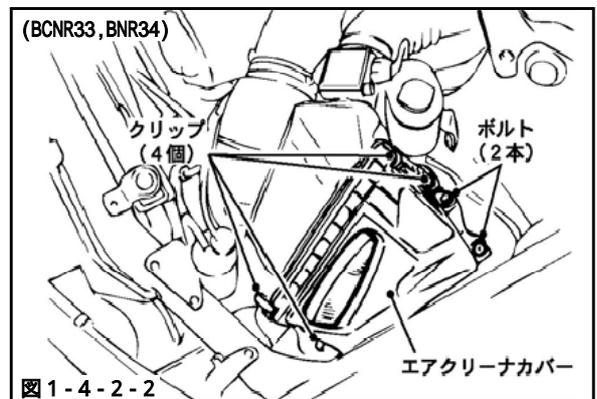


図1-4-2-2

(6) フロント, リア(以下、F, Rとする)のエアフロメータをとめているホースバンドをゆるめてください。(図1-4-2-3)

(7) F, Rのエアフロメータについているコネクタを取外してください。(図1-4-2-3)

(8) ボルト(2本)を取外し、エアクリーナケースを取外してください。(図1-4-2-3)

アドバイス

・ボルト(2本)は再使用します。

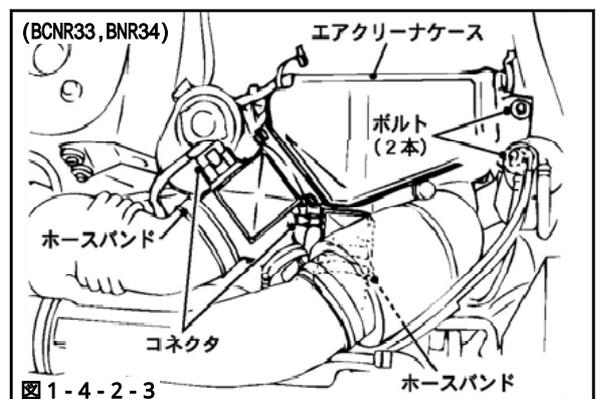
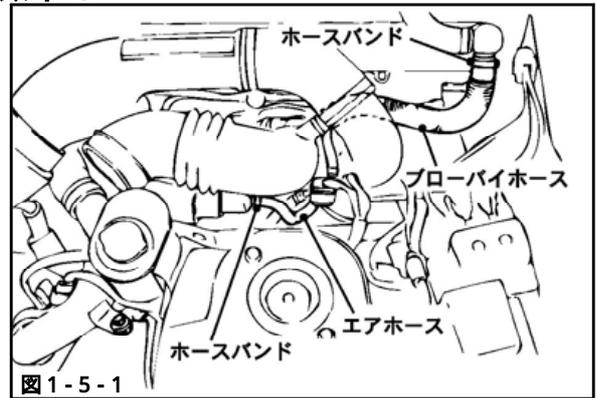


図1-4-2-3

1-5. エアホース, ブローバイホースの取外し

- (1) ホースバンドをゆるめ、エアホース, ブローバイホースを取外してください。(図1-5-1)



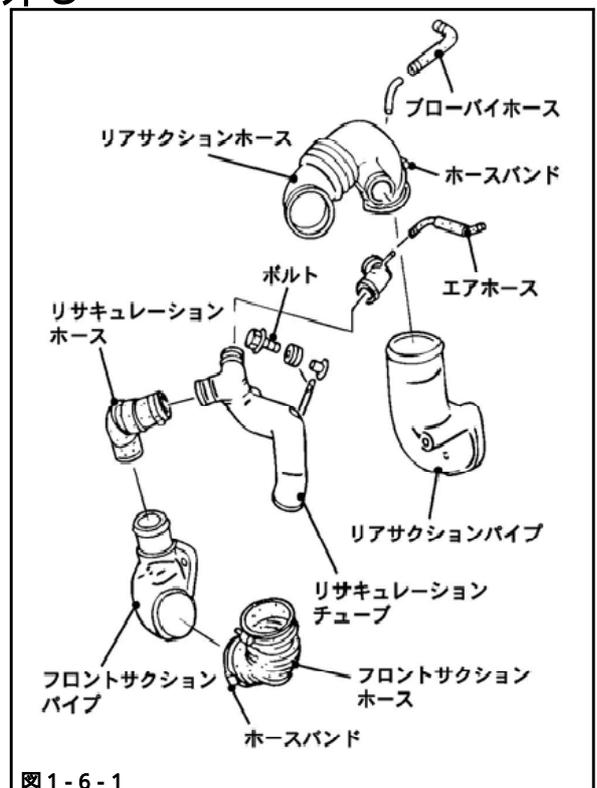
1-6. リサキュレーションチューブの取外し

- (1) ボルト(1個)を取外してください。(図1-6-1)

アドバイス

- ・ボルト(1本)は再使用します。

- (2) ホースバンドをゆるめ、リサキュレーションチューブを取外してください。(図1-6-1)



1-7. サクションホースの取外し

- (1) ホースバンドをゆるめ、F, Rのサクションホースを取外してください。(図1-6-1)

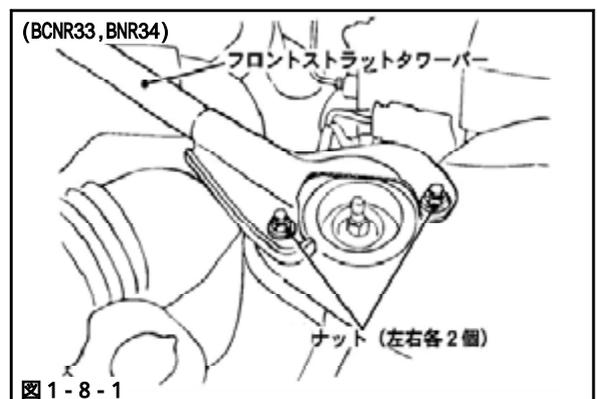
- (2) ボルト(F, R各2本)を外し、F, Rのサクションパイプを取外してください。(図1-6-1)

1-8. ストラットタワーの取外し

- (1) ナット(左右各2個)を外し、フロントストラットタワーを取外してください。(図1-8-1)
(BCNR33, BNR34)

アドバイス

- ・ナット(左右各2個)は再使用します。



1-9. ターボチャージャ Assyの取外し

1-9-1. チャンバパイプの取外し

- (1) エアホース(2本)を取外してください。(図1-9-1)
- (2) コネクタ(2個)を外してください。
- (3) ホースバンドをゆるめ、チャンバホースを取外してください。(図1-9-1)
- (4) ボルト(2本), ナット(3個)を外し、チャンバパイプを取外してください。(図1-9-1)

アドバイス

- ・ボルト(2本), ナット(3個)は再使用します。

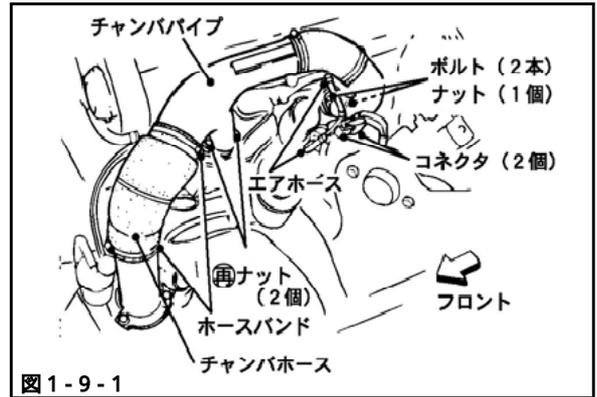


図1-9-1

1-9-2. O₂センサの取外し

- (1) O₂センサを取外してください。(図1-9-2)

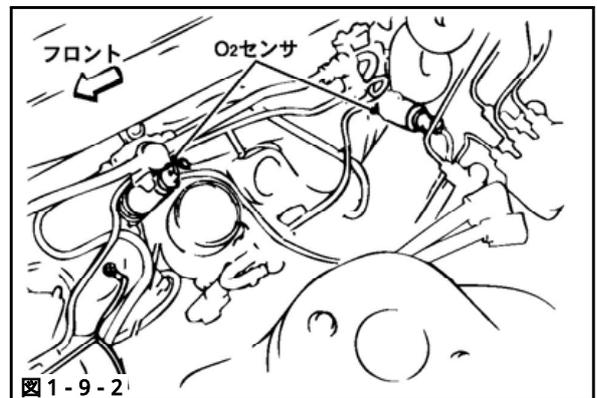


図1-9-2

1-9-3. ウォータリターンチューブの取外し

- (1) 図1-9-3-1の ①の順番でウォータリターンチューブ(A)を取外してください。(図1-9-3-1)
- (2) 図1-9-3-1の ②の順番でエアチューブを取外してください。(図1-9-3-1)

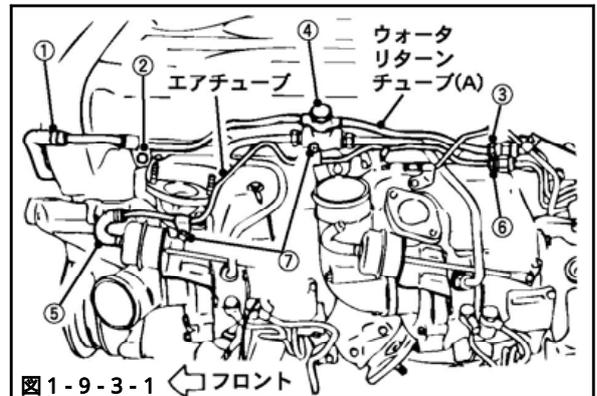


図1-9-3-1

- (3) 図1-9-3-2のナット ⑧ ~ ⑩ を外し、ウォータリターンチューブ(B), (C)を取外してください。(図1-9-3-2)

- (4) ウォータコネクタを取外してください。(図1-9-3-2)

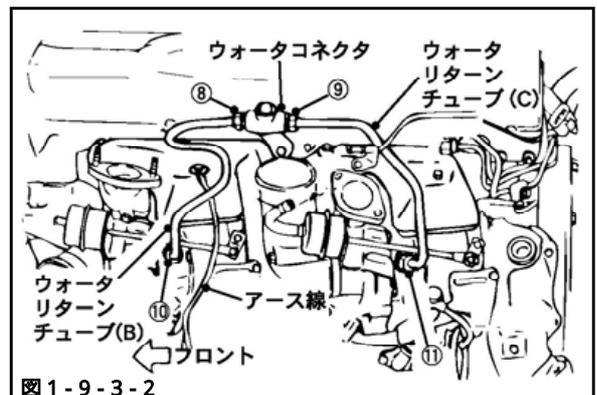
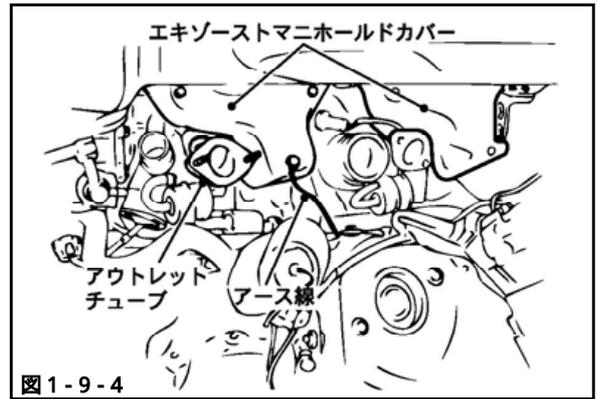


図1-9-3-2

1-9-4.エキゾーストマニホールドカバーの取外し

- (1) フロントのエキゾーストマニホールドカバーについているアース線を取外してください。(図1-9-4)
- (2) ボルト(F, R 各3本)を外し、F, Rのエキゾーストマニホールドカバーを取外してください。(図1-9-4)



1-9-5.アウトレットチューブの取外し

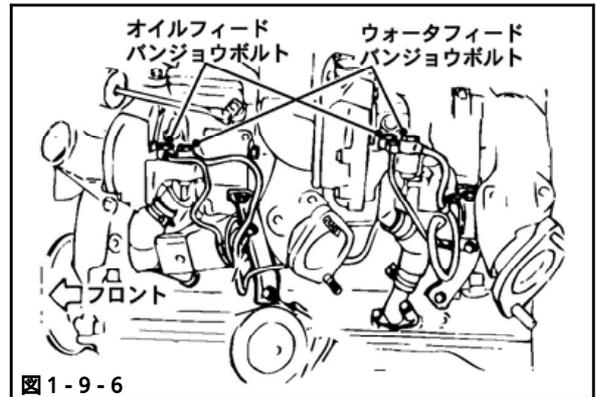
- (1) ボルト(2本)を外し、フロントターボチャージャAssyについているアウトレットチューブを取外してください。(図1-9-4)

アドバイス

- ・ボルト(2本)は再使用します。

1-9-6.パンジョウボルトの取外し

- (1) F, RのターボチャージャAssyから、オイルフィードパンジョウボルト, ウォータフィードパンジョウボルトを取外してください。(図1-9-6)

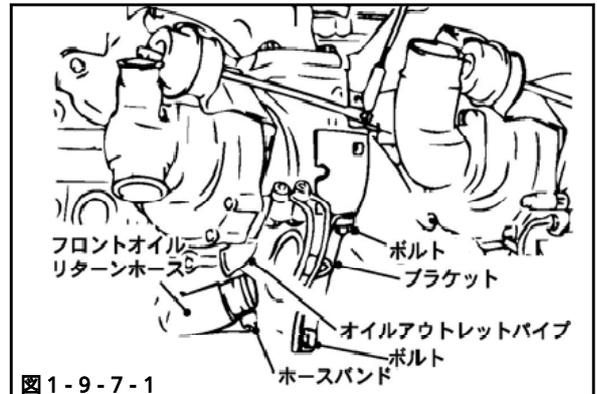


1-9-7.オイルリターンホースの取外し

- (1) ホースバンドをゆるめ、フロントオイルリターンホースをオイルアウトレットパイプから引抜いてください。(図1-9-7-1)
- (2) ボルトM8(2本)とボルトM6(1本)を外し、フロントターボチャージャAssyのブラケットを取外してください。(図1-9-7-1)

アドバイス

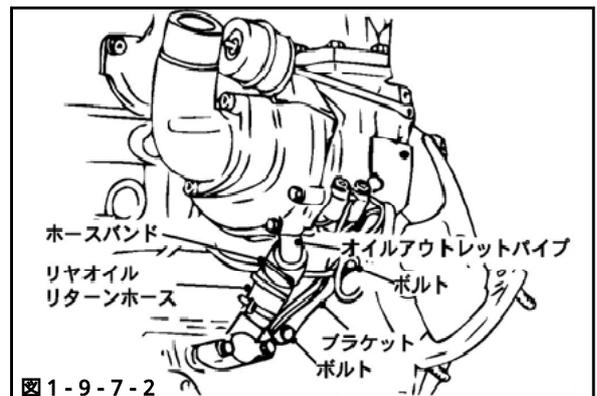
- ・ボルトM8(2本)とボルトM6(1本)は再使用します。



- (3) ホースバンドをゆるめ、リヤオイルリターンホースをオイルアウトレットパイプから引抜いてください。(図1-9-7-2)
- (4) ボルトM8(2本)とボルトM6(1本)を外し、リヤターボチャージャAssyのブラケットを取外してください。(図1-9-7-2)

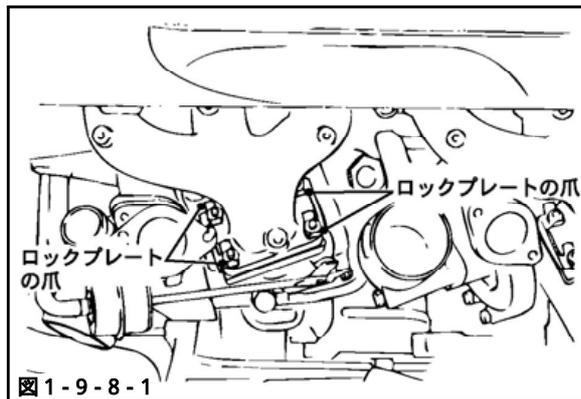
アドバイス

- ・ボルトM8(2本)とボルトM6(1本)は再使用します。



1-9-8.エキゾーストマニホールドの取外し

- (1) F, Rのエキゾーストマニホールド(以下、EXマニとする)とターボチャージャAssy取付部のロックプレートの爪を開き、ナット(F, R各4個)を取外してください。(図1-9-8-1)



- (2) F, RのターボチャージャAssyをEXマニから取外し、EXマニの下側に降ろしてください。

(図1-9-8-2)

ターボチャージャAssy下側にある、オイルフィードチューブ・ウォーターフィードチューブを曲げないようにしてください。

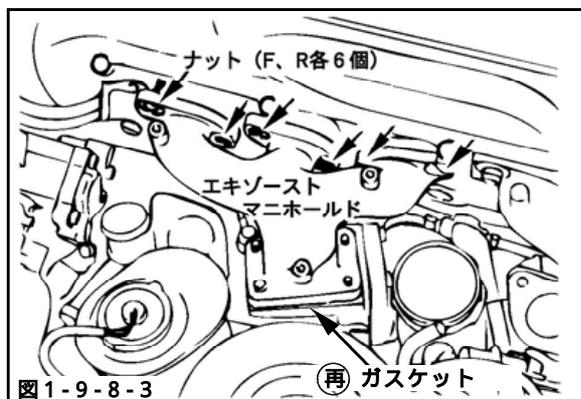


- (3) ナット(F, R各6個)を外し、F, RのEXマニを取外してください。(図1-9-8-3)

アドバイス

・ナット(F, R各6個)は再使用します。

- (4) F, RのターボチャージャAssyを引出してください。(図1-9-8-3)



1-9-9.ターボチャージャカバーの取外し

- (1) ボルト(F, R各2本)を外し、F, RのターボチャージャAssyから、ターボチャージャカバーを取外してください。(図1-9-9)

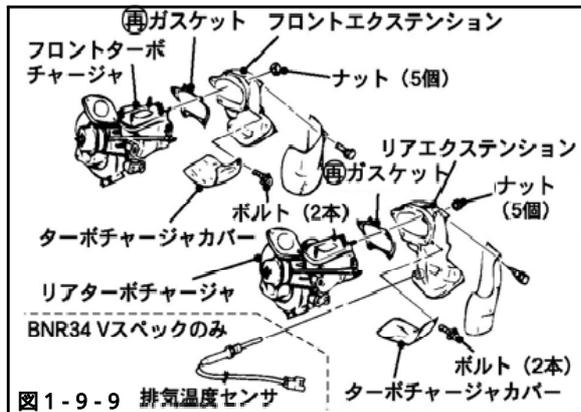
アドバイス

・ボルト(F, R各2本)は再使用します。

1-9-10.エクステンションの取外し

- (1) ナット(F, R各5個)を外し、F, RのターボチャージャAssyから、エクステンションを取外してください。(図1-9-9)

BNR34-Vスペック車は、排気温度センサも取外してください。



アドバイス

・ナット(F, R各5個)は再使用します。

1-9-11. ターボチャージャカバーの取外し

- (1) F, Rのオイルアウトレットパイプを取外してください。(図1-9-11)
- (2) F, Rのウォータフィードチューブアイボルトとオイルフィードチューブアイボルトを取外してください。(図1-9-11)
- (3) ボルトを外し、F, Rのオイルフィード・ウォータフィードチューブを取外してください。(図1-9-11)

アドバイス

・ボルトは再使用します。

- (4) ウォータチューブアイボルトを取外してください。(図1-9-11)

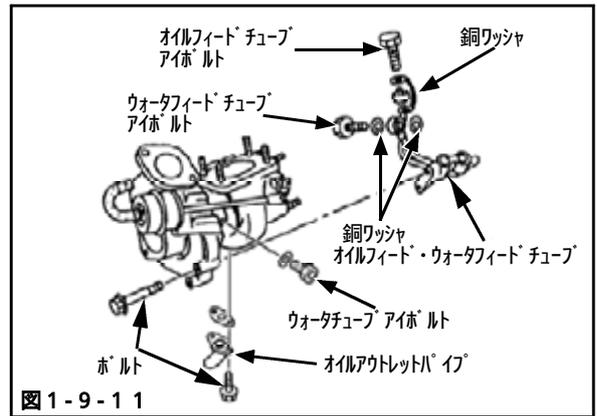


図1-9-11

2. キットパーツ取付け

⚠ 注意

ターボチャージャAssyのオイルラインにノーマルパーツを使用しない場合は、オイルの流量を制限するためにオイルインレット部に内径 1.5のオリフィスを必ず使用してください。使用しない場合、コンプレッサハウジング内にオイル漏れが発生し、ターボチャージャAssyを破損する恐れがあります。オイルライン組立ての際、シールテープ及び液状ガスケットは使用しないでください。ターボチャージャAssyのオイルラインを塞ぎ、ターボチャージャAssyを破損させる恐れがあります。

⚠ 警告

オイルラインは、排気系部品のような高温になる部分に、接触・接近しすぎないように配管してください。接触・接近しすぎたまま使用するとオイルラインが破損してオイルが漏れ、最悪の場合車両火災の起きる恐れがあります。オイルインレットホースを固定するときは、オイルインレットホースのカシメ部分がきつく曲げられたり無理な力が加わらないように固定してください。きつく曲げられたり無理な力が加えられた状態、また、エンジン振動などで繰り返し曲げが加わる状態で使用し続けると、オイルインレットホースが破損してオイルが漏れ、最悪の場合車両火災の起きる恐れがあります。

2-1. ターボチャージャAssy配管の取付け

- (1) ターボチャージャAssyのウォータライン・オイルラインにエアガンでエアブローを行ない、異物のないことを確認してください。(図2-1-1)
 - ・ターボチャージャAssy (P1 x 2)
- (2) オイルライン入口に新品のエンジンオイルを注入し、ホイールを指で回転させ、ベアリング内部にオイルを行き渡らせてください。(エンジン始動時の潤滑不良を防止するため)
- (3) コンプレッサホイール, タービンホイール, コンプレッサハウジング, タービンハウジングもエアガンでエアブローを行ない、異物のないことを確認してください。

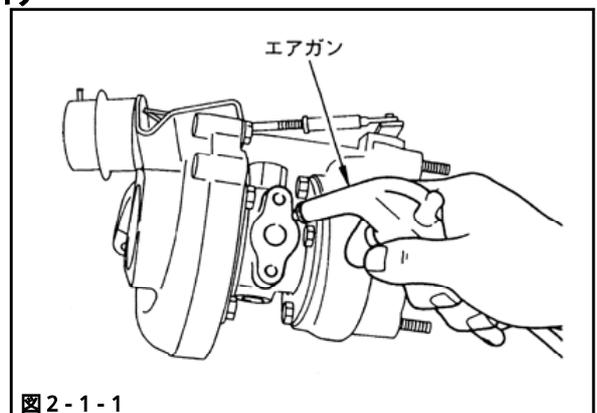
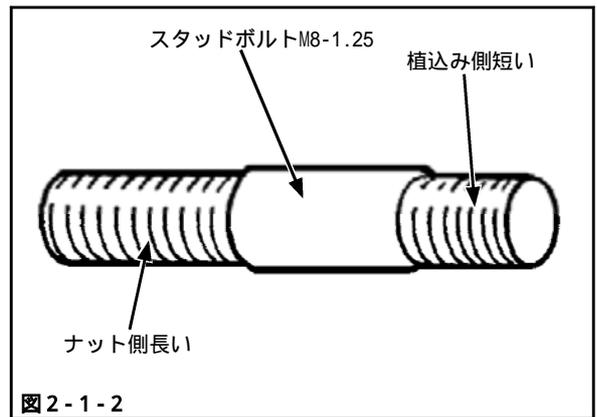


図2-1-1

- (4) スタッドボルトM8-1.25をターボチャージャAssyに取付けてください。(図2-1-2, 図2-1-3)
 ・スタッドボルトM8-1.25 (P12×18)

アドバイス

- ・スタッドボルトのネジ部の短い方を植込み側にして
 ください。



- (5) F, R オイルフィード・ウォータフィードチューブを取付けてください。(図2-1-3)
 ・銅ワッシャオイルライン (P9×4)
 ・銅ワッシャウォータライン(小) (P11×4)
 ・オリフィス入りバンジョウボルト (P17×2)
 ・ボルト (純正)
 ・ウォータフィードチューブアイボルト

締付けトルクN・m(kgf・m)

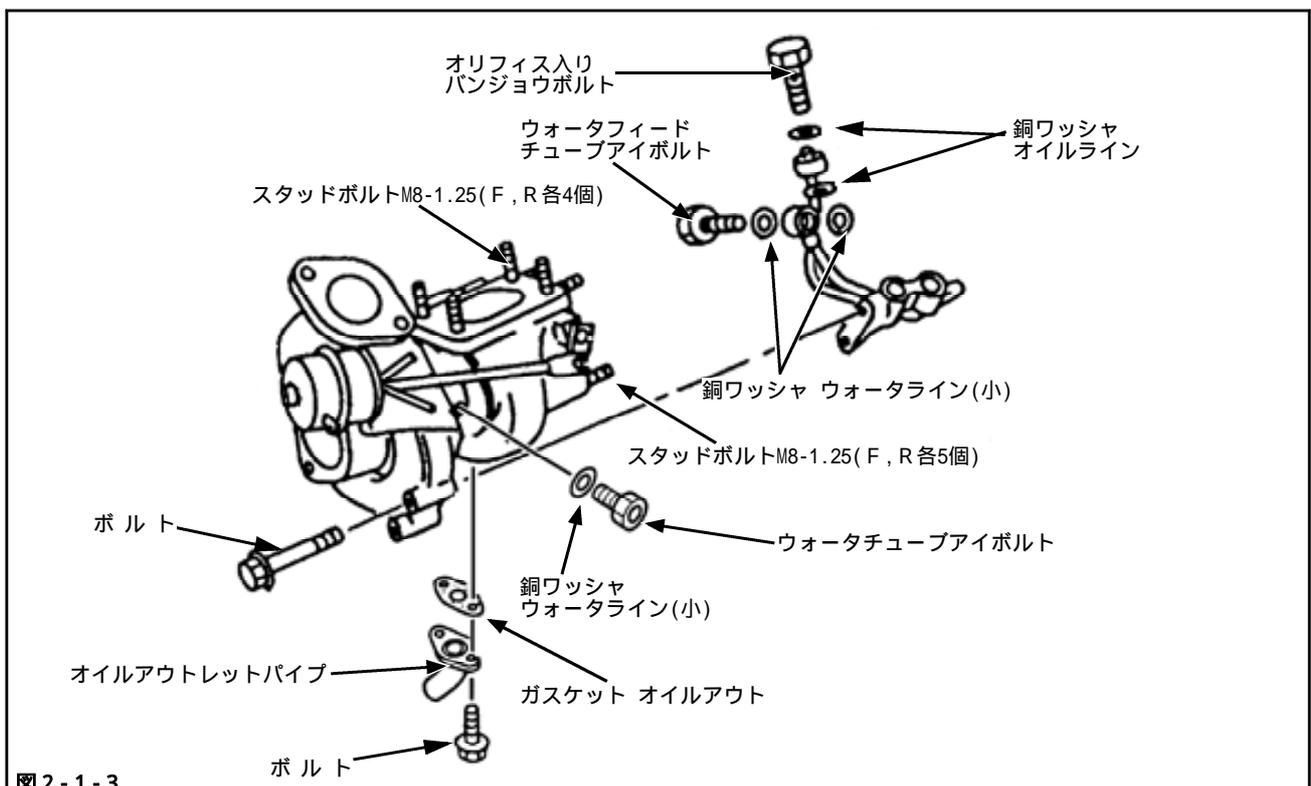
T=20~29(2.0~3.0)

- (6) F, Rのウォータチューブアイボルトを取付けてください。(図2-1-3)
 ・銅ワッシャウォータライン(小) (P11×2)

締付けトルクN・m(kgf・m)

T=20~31(2.0~3.2)

- (7) オイルアウトレットパイプ フロントをフロント側を取付けてください。(図2-1-3)
 ・ガスケットオイルアウト (P7×1)
 ・オイルアウトレットパイプ フロント (P15×1)
- (8) オイルアウトレットパイプ リヤをリヤ側を取付けてください。(図2-1-3)
 ・ガスケットオイルアウト (P7×1)
 ・オイルアウトレットパイプ リヤ (P16×1)



2-2. エクステンションの取付け

- (1) F, RのエクステンションをターボチャージャAssyに取付けてください。
 BNR34-Vスペック車は、排気温度センサも取付けてください。(図2-2-1)
 ・ナット(F, R各5個) (純正)
 ・ガスケット (純正)
 ・排気温度センサ(BNR34-Vスペック車のみ)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=22.5~29.4(2.3~3.0)

当社エクステンションキット(コード No. 1418-RN005 または1418-RN011)を取付けている場合は、エクステンションキット内の取付説明書に従い、フランジボスを使用せず皿ビスのみを取付けてください。

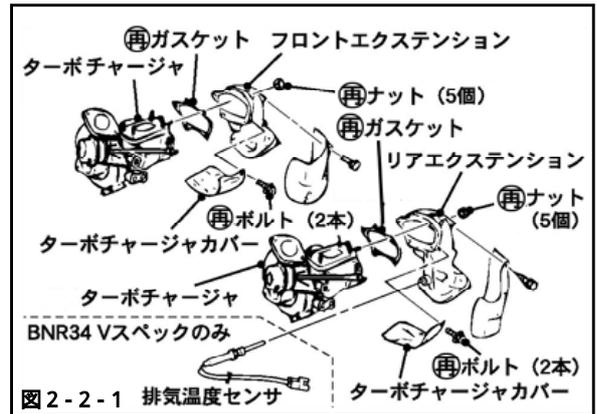


図2-2-1 排気温度センサ

2-3. ターボチャージャカバーの取付け

- (1) ターボチャージャカバーをF, RのターボチャージャAssyに取付けてください。(図2-2-1)
 ボルト(F, R各2本) (純正)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=2.9~5.0(0.3~0.5)

2-4. エキゾーストマニホールドの取付け

- (1) EXマニを取付ける前にターボチャージャAssyを取付け位置に置いてください。(図2-4-1)

アドバイス

- ・シリンダヘッド及びEXマニの取付け面に付着した古いガスケットはスクレーパで完全に取除いてください。
- (2) EXマニをエンジンに取付けてください。(図2-4-1)
 ・ガスケットエキゾースト (P2×2)
 ・ナット(純正)(F, R各6個)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=17.6~23.5(1.8~2.4)

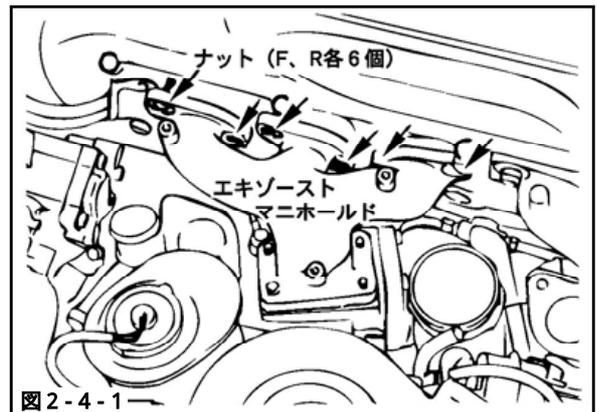


図2-4-1

2-5. ターボチャージャAssyの取付け

- (1) ターボチャージャAssyをF, RのEXマニに取付けてください。(図2-5-1)
 ・セルフロックナットM8-1.25(F, R各4個) (P13×8)
 ・ガスケット (純正)
 ・ロックプレート

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=22.6~29.4(2.3~3.0)

- (2) セルフロックナット締付け後、ロックプレートの爪を内側に折曲げてください。(図2-5-1)

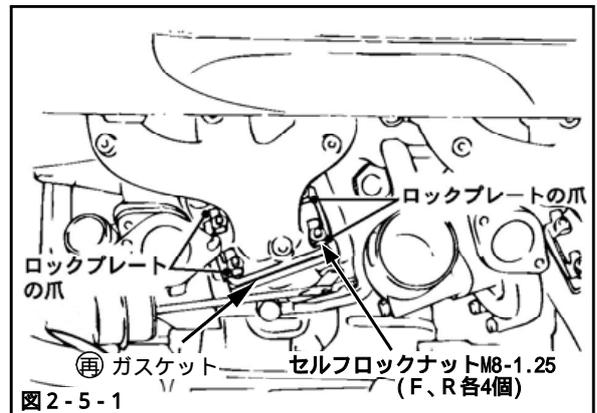


図2-5-1

2-6. オイルリターンホースの取付け

- (1) F, Rのオイルリターンホースをオイルアウトレットパイプに取付けてください。(図2-6-1, 図2-6-2)
 ・ホースバンド
- (2) F, RのターボチャージャAssyのブラケットを取付けてください。(図2-6-1, 図2-6-2)
 ・ボルトM8 (純正×4) (1-9-7.(2),(4)で取外したもの)
 (F, R各2個)
 ・ボルトM6 (純正×2) (1-9-7.(2),(4)で取外したもの)
 (F, R各1個)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15.7~20.6(1.6~2.1)

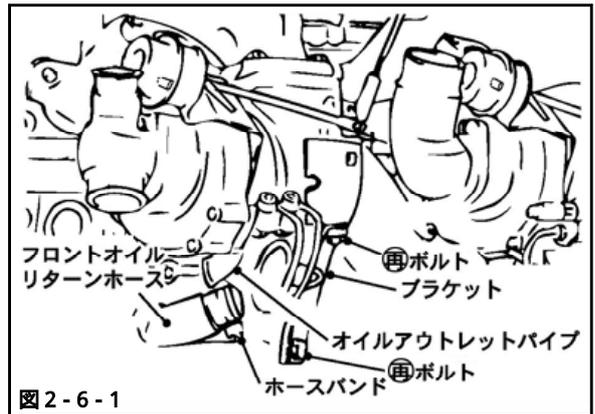


図2-6-1

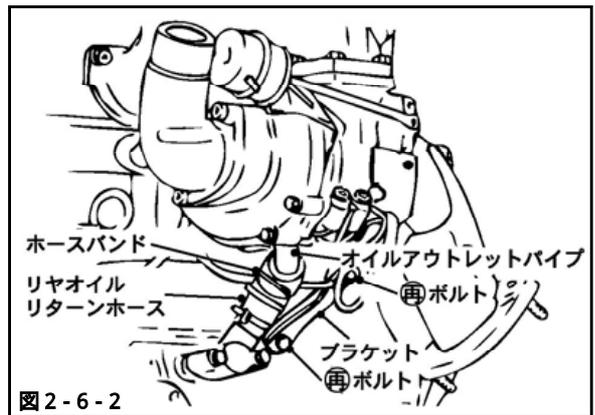


図2-6-2

2-7. バンジョウボルトの取付け

- (1) オイルフィードバンジョウボルトを取付けてください。(図2-7-1)
 ・銅ワッシャオイルライン (P9×4)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=17.6~19.6(1.8~2.0)

- (2) ウォータフィードバンジョウボルトを取付けてください。(図2-7-1)
 ・銅ワッシャウォータライン(小) (P11×4)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=29.4~39.2(3.0~4.0)

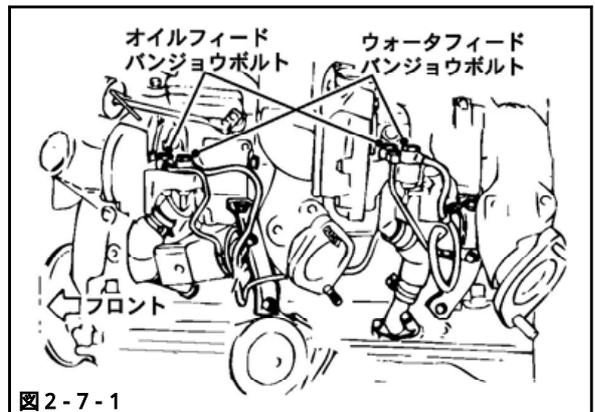


図2-7-1

3. ノーマルパーツ取付け

3-1. エキゾーストマニホールドカバーの取付け

- (1) エキゾーストマニホールドカバーを取付けてください。
(フロント側にアース線を共締めしてください。)
(図3-1-1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=3.7~4.9(0.38~0.5)

3-2. アウトレットチューブの取付け

- (1) アウトレットチューブをフロントのターボチャージャー Assy に取付けてください。(図3-1-1)
・ ガスケットチャンバパイプ (P5×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=6.3~8.3(0.64~0.85)

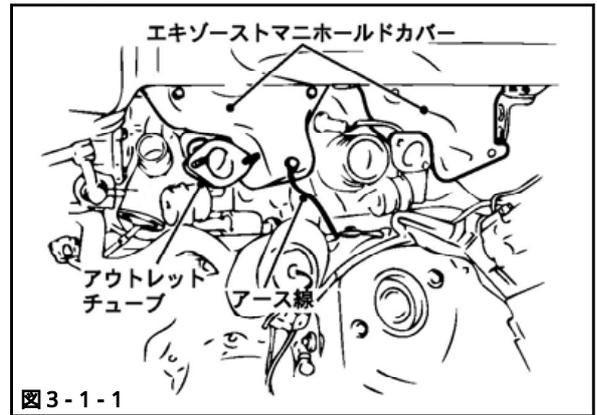


図3-1-1

3-3. ウォータリターンチューブの取付け

- (1) ウォータコネクタを取付けてください。(図3-3-1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=31.4~44.1(3.2~4.5)

- (2) 図3-3-1のナット ~ を全て仮締め後、本締めし、ウォータリターンチューブ(B), (C)を取付けてください。(図3-3-1)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=19.6~31.4(2.0~3.2)

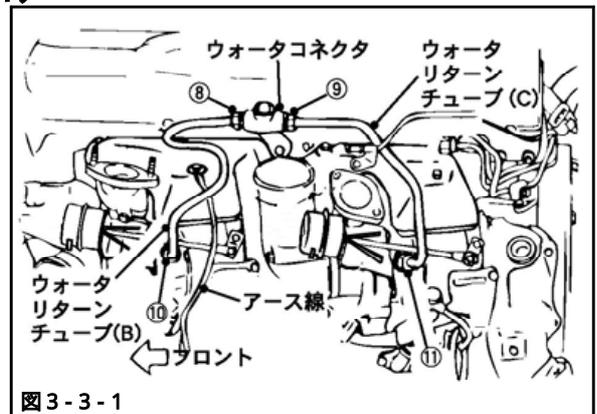


図3-3-1

- (3) 図3-3-3の の順番で、エアチューブを取付けてください。(図3-3-3)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=6.3~8.3(0.64~0.85) (ボルト)
T=14.7~19.6(1.5~2.0) (ボルト)

- (4) 図3-3-3の の順番で、ウォータリターンチューブ(A)を取付けてください。(図3-3-3)
・ 銅ワッシャウォータライン(大) (P10×2)

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=13.2~41.2(3.4~4.2) (バンジョウボルト)
T=19.6~31.4(2.0~3.2) (ナット)
T=6.3~8.3(0.64~0.85) (ボルト)

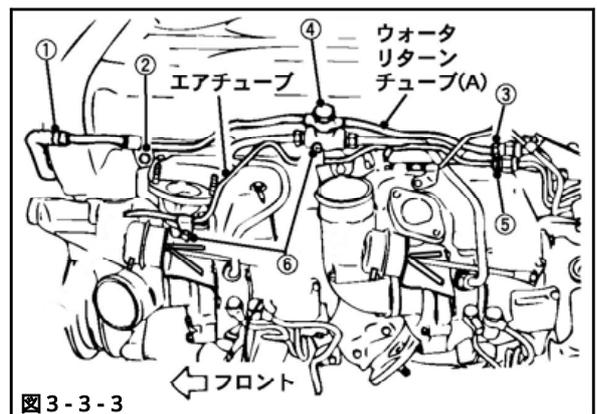
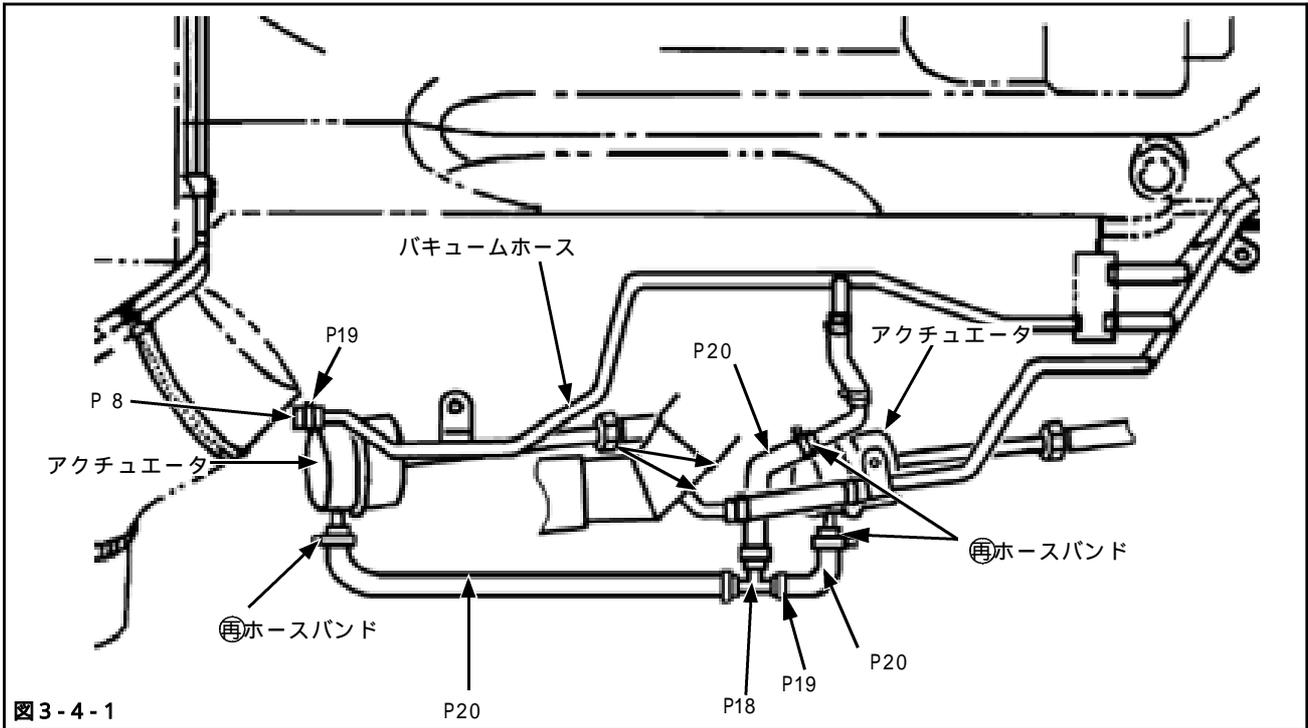


図3-3-3

3-4. アクチュエータの配管

(1) バキュームチューブに取付けてください。(図3-4-1)

- ・ゴムキャップ 6 (P8×1)
- ・タイラップ(小) (P19)



(2) 耐油ホース 6を下記のように切断してください。

- ・耐油ホース 6 (P20×1)

- P20 ……280mm
- P20 ……140mm
- P20 ……80mm

(3) バキューム配管をしてください。(図3-4-1)

- ・スリーウェイ (P18×1)
- ・タイラップ(小) (P19)
- ・耐油ホース 6 (P20) (3-4.(2)で280mmに切断したもの)
- ・耐油ホース 6 (P20) (3-4.(2)で140mmに切断したもの)
- ・耐油ホース 6 (P20) (3-4.(2)で80mmに切断したもの)

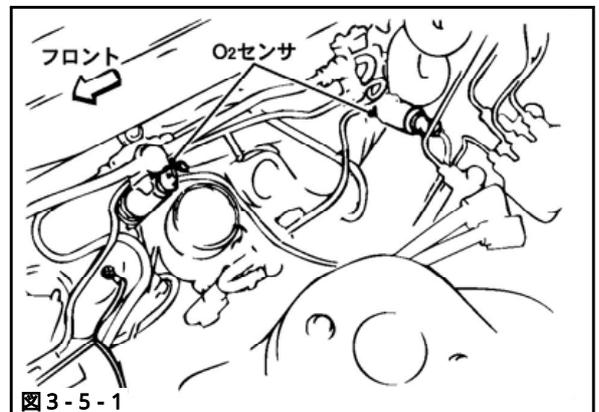
(4) 純正過給圧コントロールバルブは使用しないため、カブラを取外してください。

3-5. O₂センサの取付け

(1) O₂センサをF, Rのエクステンションに取付けてください。(図3-5-1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=40.2~50.0(4.1~5.1)



3-6. チャンバパイプの取付け

- (1) チャンバパイプを取付けてください。(図3-6-1)
 ・ガスケットチャンバパイプ(P5×2)
 ・ボルト(純正×2)
 ・ナット(純正×3)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15.7~20.6(1.6~2.1)

- (2) チャンバホースを取付けてください。(図3-6-1)
 ・ホースバンド
- (3) コネクタ(2個)を取付けてください。(図3-6-1)
- (4) エアホース(2本)を取付けてください。(図3-6-1)

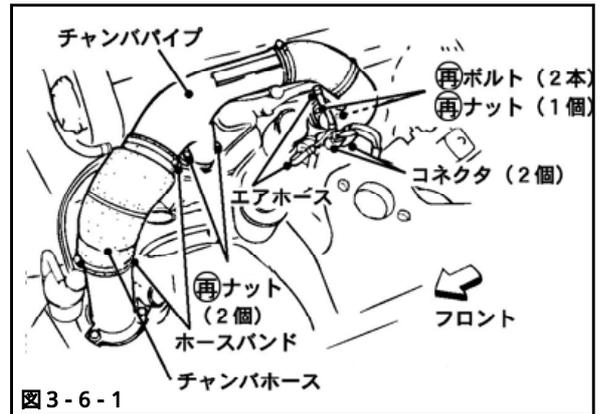


図3-6-1

3-7. ストラットタワーの取付け

- (1) フロントストラットタワーを取付けてください。
 (図3-7-1)(BCNR33, BNR34)
 ・ナット(純正×4)(左右各2個)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=39.2~59.3(4.0~5.5)

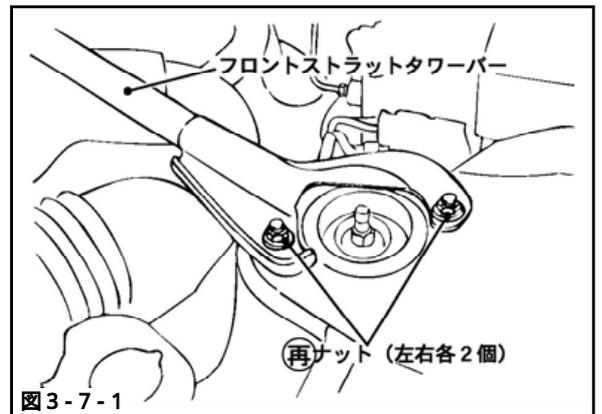


図3-7-1

3-8. サクションホースの取付け

- (1) F, Rのサクションパイプを取付けてください。
 (図3-8-1)
 ・ガスケットサクションパイプ(P6×2)
 ・六角穴付きボルトM8 L=30 (F,R各2個)(P14×4)
- (2) F, Rのサクションホースを取付けてください。
 (図3-8-1)
 ・ホースバンド

3-9. リサキュレーションチューブの取付け

- (1) リサキュレーションチューブを取付けてください。
 (図3-8-1)
 ・ホースバンド
- (2) ボルト(1本)を取付けてください。
 ・ボルト(純正×1)

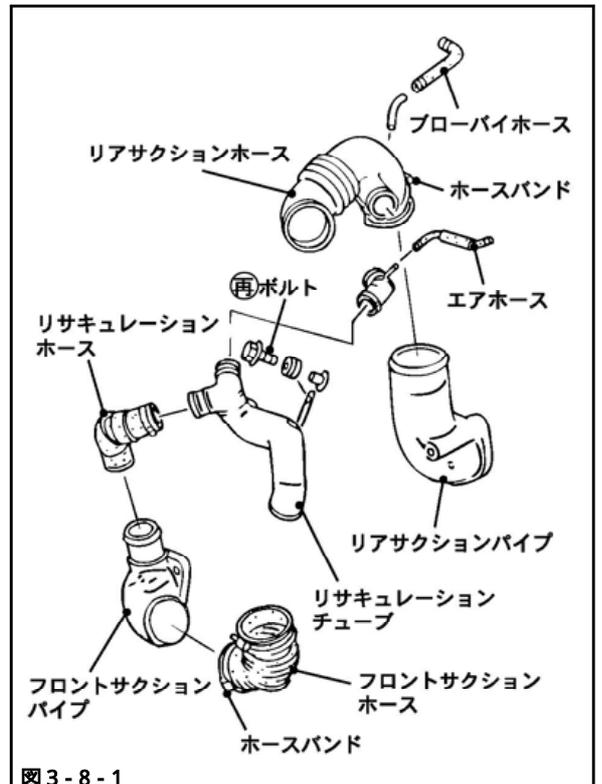


図3-8-1

3-10.エアホース,ブローパイホースの取付け

- (1)エアホース,ブローパイホースを取付けてください。
 (図3-10-1)
 ・ホースバンド

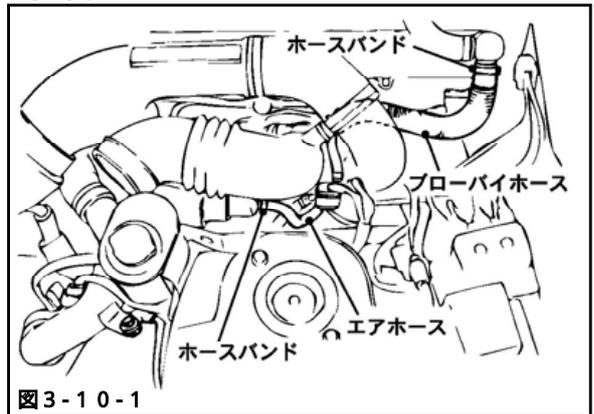


図3-10-1

3-11.エアクリーナの取付け

3-11-1.エアクリーナの取付け(BNR32)

- (1)エアクリーナケースを取付けてください。
 (図3-11-1-1)
 ・ボルト (純正)(ケース内2本,外側2本)
- (2)エアクリーナを取付けてください。(図3-11-1-1)
- (3)エアクリーナカバーを取付け、クリップ(4個)で固定してください。(図3-11-1-1)
- (4)コネクタを、フロントエアフロメータに取付けてください。(図3-11-1-2)
- (5)フロントエアフロメータをフロントサクションホースに取付けてください。(図3-11-1-2)
 ・ホースバンド

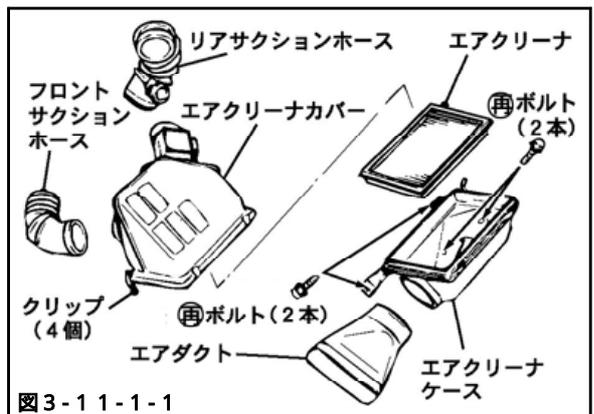


図3-11-1-1

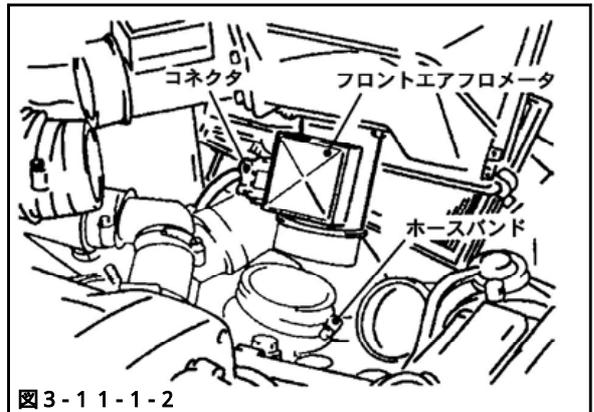


図3-11-1-2

- (6)コネクタ,リアエアフロメータに取付けてください。
 (図3-11-1-3)
- (7)リアエアフロメータに取付けてください。
 (図3-11-1-3)
 ・ホースバンド

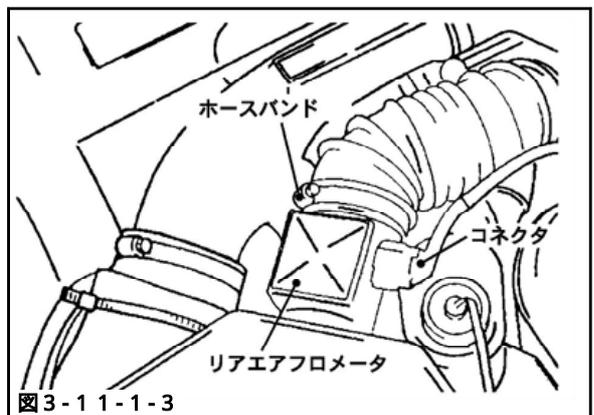


図3-11-1-3

3-1 1-2 .エアクリナーの取付け (BCNR33, BNR34)

- (1) エアクリナーケースを取付けてください。
(図3-11-2-1)
・ボルト (純正×2)
- (2) コネクタをF, Rのエアフロメータに取付けてください。
(図3-11-2-1)
- (3) F, Rのサクションホースをエアフロメータに取付けてください。
(図3-11-2-1)
・ホースバンド

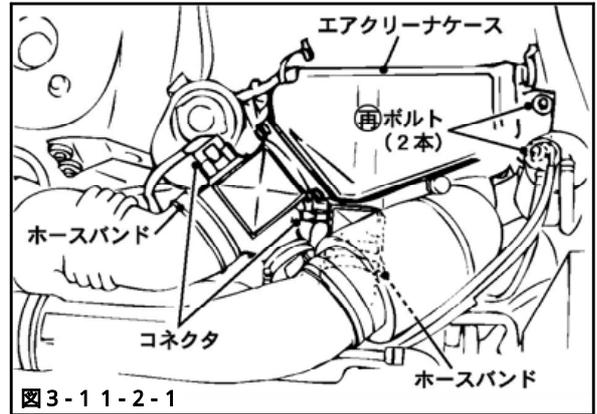


図3-1 1-2-1

- (4) エアクリナーを取付けてください。(図3-11-2-2)
- (5) エアクリナーカバーを取付け、クリップ(4個)で固定してください。(図3-11-2-2)
- (6) ボルト(2本)を取付けてください。(図3-11-2-2)
・ボルト (純正×2)

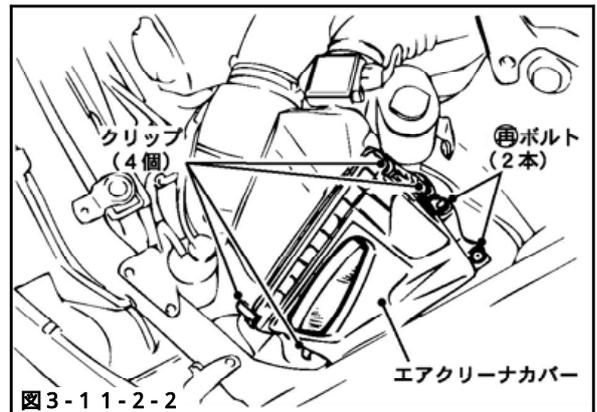


図3-1 1-2-2

- (7) エアダクト(左フェンダ側)を矢印の方向に引張り、エアクリナーカバーと密着させてください。
(図3-11-2-3)
- (8) エアダクト(外気導入側)を取付けてください。
(図3-11-2-3)
・クリップ (純正×2)

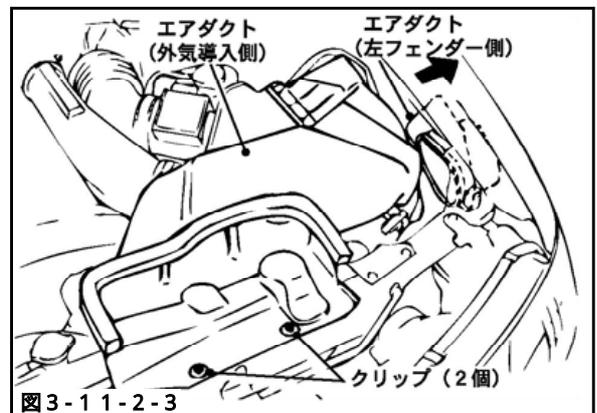


図3-1 1-2-3

3-1 2 .フロントパイプの取付け

- (1) フロントパイプを取付けてください。
(図3-12-1)
・ガスケット フロントパイプ 65 (P3×2)
・ガスケット 汎用マフラー 75 (P4×1)
・ナット(エクステンション側) (純正各4個)
・ボルト(触媒側) (純正×2)

締付けトルクN・m(kgf・m)
T=4.3~5.9(0.44~0.60)

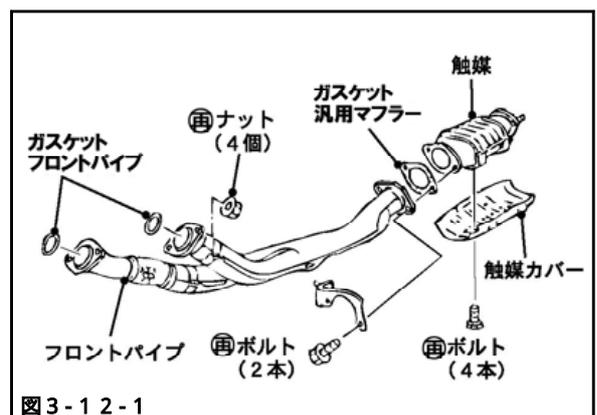
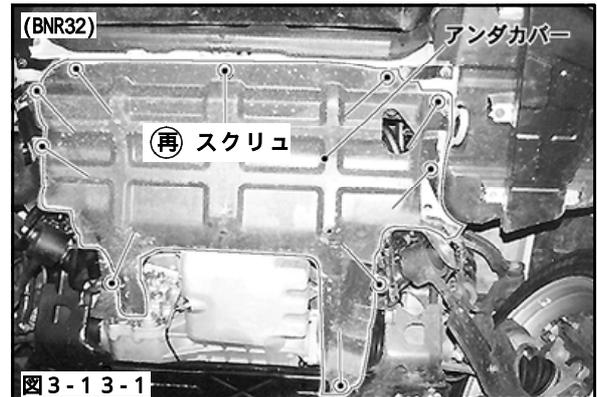


図3-1 2-1

3-13. アンダカバーの取付け

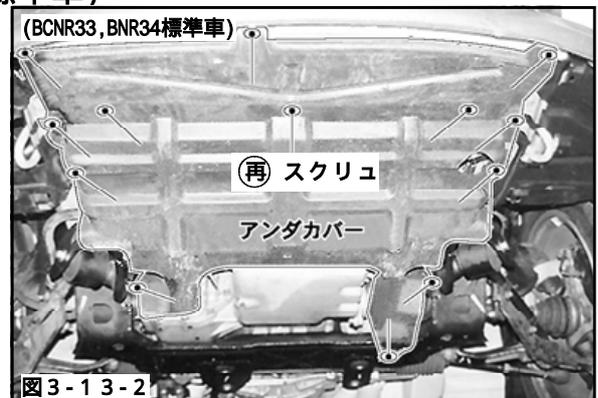
3-13-1. アンダカバーの取付け (BNR32)

- (1) アンダカバーを取付けてください。(図3-13-1)
・ スクリュ (純正 × 13)



3-13-2. アンダカバーの取付け (BCNR33, BNR34標準車)

- (1) アンダカバーを取付けてください。(図3-13-2)
・ スクリュ (純正 × 10)



3-13-3. フロントディフューザの取付け (BNR34 Vスペック車)

- (1) フロントディフューザを取付けてください。
(図3-13-3)
・ ボルト (純正 × 17)

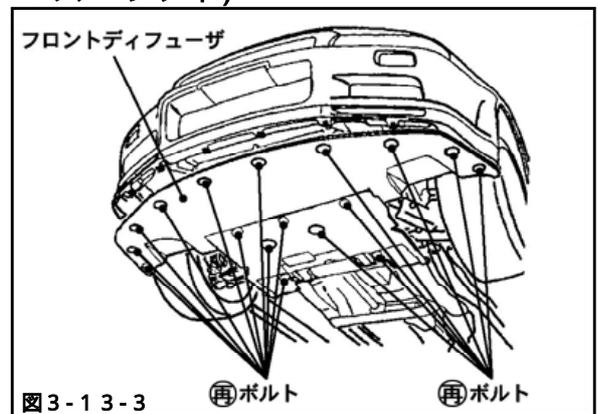
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=5.1~6.4(0.52~0.66)

- (2) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
(3) 冷却水を注入して、エア抜きを行なってください。
(4) エンジンオイルを入れてください。

アドバイス

- ・ H K S 製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。



取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。

補足

- ・本製品取付後は、出力が上がりますのでF-CON等の燃料調整装置を使用しセッティングを取り直してください。
- ・また、必要により燃料ポンプ、インジェクタの大容量化、メタルタイプ ヘッドガスケットへの交換を行なってください。
- ・必ず、エンジンプラグの焼け具合を確認し、必要であればプラグの交換を行なってください。
- ・アクチュエータで過給圧を調整する際、アクチュエータロッドを締込む（短くする）と上がり、ゆるめる（長くする）と下がります。

注意

過給圧の設定は、エンジンの仕様に合わせて設定してください。設定をおこたると、エンジンの破損の原因となります。
車両の個体差により、ストローク不足が生じる場合があります。必ず、ご確認の上御使用ください。